

花は桜木。



桜木中学校
学校便り
6月14日発行No. 3
文責 林田 敬二郎

心のきずなを深める月間



12日(水)の朝、全校集会を行いました。今回の集会は、6月が「心のきずなを深める月間」であることに合わせて、人権について皆で考えあう

内容で行いました。校長講話では、次のような話をしました。

私たちは、意識しないうちに「思い込み」で判断してしまうことがあったりします。しかし、「思い込み」だけで判断して行動したり、言葉を発したりしていると、そんなつもりはなくても人を傷つけたりしてしまいます。「思い込み」がエスカレートしてしまうと、それは「偏見」となっ

ていじめや差別を生んでしまったりします。「ダイバーシティ」という言葉を知っていますか？日本語にすると「多様性」という言葉になります。「多様性」とは、全く違うたくさんの人や物の集まりのことを示す言葉です。しかし、これは目に見える違いだけでなく、考え方や信じているもの、大切にしているものなど、外から見た目だけでは見えない心の部分まで含まれる言葉なのです。私たちの住む社会は、これからもっともっと多様な人々や多様な物があふれ、交わって生活する時代になっていきます。そんな中で皆が幸せに生きていくためには、多様性を理解する力をつけていくことが大切になってきます。「人は皆同じ 人は皆違う」、全く逆のことを言っていますが、人は皆「人間として同じ」であると同時に、「人は皆違う人間」です。「一人一人が皆同じく違う」「違って当たり前」ということ、多様性を認め合うことから理解が始まるのだと思います。皆さんには、「豊かな人権感覚」を高める努力をしてほしいと思っています。自分自身を大切にすることと同じように相手を大切にすることを身につけてほしいと思います。自分とは違う見ための人、自分とは違う見方や考え方を持つ人、本人の努力では変えることのできないことに対して、冷やかしたり、からかったりしたことはありませんか。「もともと仲がいいから」とか、「嫌がっているように見えないから」とか、自分本位な考え方で友だちに乱暴な言動をしていませんか。SNSの中で相手の顔や表情、思いを想像できずに、一方的で感情的な言葉を投げってしまったことはありませんか。そんな言動が人を傷つけ、いじめや差別を生んでいきます。心の貧しい人にはなってほしくありません。様々な立場にいる人の気持ちを想像できる視野の広い、心豊かな人になっていきましょう。

《1年生 福祉体験》



10日(月)に地域の福祉関係の皆様のご協力を得て、1年生が福祉体験を行いました。車椅子の操作や目や手足が不自由になった時を実際に体験しながら、多くのことを学ぶことが出来ました。関係者の皆様ありがとうございました。

